

6. 微小粒子状物質（PM2.5）

平成24年度の微小粒子状物質の有効測定局数※は、435局（一般局：312局、自排局：123局）であった。

長期基準に対する環境基準達成状況は、一般局で192局（61.5%）、自排局で56局（45.5%）であり、一方、短期基準に対する環境基準達成状況は、一般局で139局（44.6%）、自排局で47局（38.2%）であった。長期基準及び短期基準の両方を満たした環境基準達成局は、一般局で135局（43.3%）、自排局で41局（33.3%）であった（表6-1）。

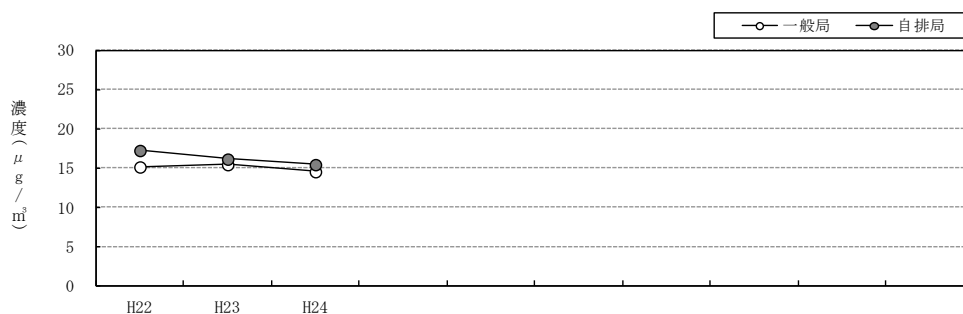
年平均値については、一般局で $14.5 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、自排局で $15.4 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であった（図6-1）。年平均値は、一般局、自排局ともやや低下したが、環境基準達成率は未だ低い状況であるため、引き続き常時監視体制の強化や観測データの集積を図るとともに、成分分析結果等に基づく発生源別寄与や二次生成メカニズムの解明に取り組む等により、環境基準の達成率向上にむけた取り組みを進めていく必要がある。

※有効測定局……測定している機器が等価性のあるもので、かつ年間測定日数が250日以上測定局

表6-1 微小粒子状物質の環境基準達成状況

	一般局	自排局
有効測定局	312局	123局
環境基準達成局 (長期基準と短期基準ともに達成した測定局)	135局 (43.3%)	41局 (33.3%)
環境基準非達成局	177局 (56.7%)	82局 (66.7%)
長期基準に対してのみ達成した測定局(短期基準は非達成)	57局 (18.2%)	15局 (12.2%)
短期基準に対してのみ達成した測定局(長期基準は非達成)	4局 (1.3%)	6局 (4.9%)
長期基準と短期基準ともに非達成の測定局	116局 (37.2%)	61局 (49.6%)

図6-1 微小粒子状物質の年平均値及び測定局数の推移



		H22	H23	H24						
一般局	年平均値(μg/m³)	15.1	15.4	14.5						
	測定局数	34	105	312						
自排局	年平均値(μg/m³)	17.2	16.1	15.4						
	測定局数	12	51	123						